

2026年 看護職員・介護職員の負担の軽減及び処遇の改善に資する計画

2026年4月1日

項 目	2026年度 目標	2026年度 評価
看護職員と 他職種との分業	① 薬剤部 継続検討 薬剤師病棟配置 病棟・療養棟毎の内服薬のセッティングなど 配薬カートのセッティングを行う	
	② リハビリ 継続検討 土日祝等休日リハの検討 食介などリハビリを兼ねた介助等への拡大	
	③ 栄養科 トロミ給茶機の検討 病棟業務の拡大（食事の際、病棟訪問い患者対応行う等）	
	④ 事務部 病棟・療養棟担当者は、病棟・療養棟へ上がり問題点あればその 場で解決をしたり、現場での業務拡大・確認作業を引続き行う 病棟業務の拡大（入院時の説明等）	
	⑤ 全コメディカル 車いすの点検及び清掃をパート業務へ変更する 介護医療院の合同レクリエーション参加 レクリエーションの一環で屋上庭園の利用を検討	
	⑥ カルテ整理の負担軽減 診療情報管理室で「入院診療計画書（入院時・転棟時）」の作成 の確認を引続き行う 退院後の個人ファイル受取り後、文書のスキャンの確認を引続き 行う 文書の取込違いの確認を日々行う	
	⑦ 検査科 業務の拡大 外来患者の採血業務 未提出検査の確認・報告、細菌検査の実施確認と後追い 各病 棟・療養棟のスピッツの補充と確認業務の引続き検討する MEは北九州総合病院と連携を図り医療機器の中央管理を行う	
看護部で事務作業 補助者の配置	病棟業務の拡大 看護クラークによる電カル入力もれ・医療区分チェック等業務の 拡大を引続き行う	
看護補助者の増員	院内横断的な外回り業務（ベッドメイキング・外ごみ回収・お風 呂掃除）の増員 技能実習生（合計7名）の日本語検定実技試験等の合格を目指し 指導を行い、看護補助業務の戦力化を図る	
妊娠・子育て中の看護 職員に対する配慮	申し出のあった職員に対し夜勤減免や勤務開 始時間等の配慮は継続中	
多様な勤務形態の導入	柔軟な対応を継続する	
夜勤負担の軽減	引続き人員確保を継続する 派遣採用にて増員を図る 夜間帯にて外回りの看護助手の採用を継続する	
<新設> 電子カルテ導入に 伴う改善	事務にて対応 引続き継続	